

履歴書

平成24年5月9日現在



ふりがな		くりもと たいすけ	
氏 名			
栗本 泰佑			
出身地		年齢	※
福井県小浜市		(満 33 歳)	男・女
参加した NICE ボランティア		分野	
国際ワークキャンプ		農業、福祉、文化交流、子ども など	
場所 (国・市町村まで記入)	① タイ・チェンライ (90%) ②ネパール・? (90%) ② 北海道・新得 (90%) ④北海道・帯広、然別湖 (80%) ⑤「東京・青梅 (90%) ⑥アメリカ・LA の近く (90%) ⑦フィジー・バ (90%)		
受け入れ団体	① Greenway (70%) ②??? (70%) ③NICE (90%) ④ NICE (80%) ⑤NICE (80%) ⑥??? (100%) ⑦NICE? (100%)		

満足度

左記

活動のやりがい度

左記

こんなボランティアでした	
① タイの山岳民族の寄宿舎をしている団体にお邪魔して、子どもたちとの交流、山への生活体験など。初めて海外。この体験が印象に残り、今でもタイの山岳民族の人たちとつながりあり。ちょうどリアルに現在 HP 作成（さくらプロジェクト）のお手伝いをしている。	
② 村の階段を作るなど村の整備。年末年始のワークキャンプだったので、後半はみんなで NEWYEAR を祝った！トレッキングをしてヒマラヤ山脈の自然の雄大さが今でも印象的。全く英語がでしななかったのに、日本人のワークキャンパーが一人いてとても助けられた。ありがとう！	
③ 共働学舎にて、農作業、ちょっとした土木作業、酪農のお手伝い。障害者の人たちと一緒に住むコミュニティだったので、その方々との交流もあり。ふり返れば、理念がとても素晴らしいコミュニティ。最近はどうなされているかな。僕が今後目指したい生活スタイルかな。	
④ 氷（雪）の家づくり。ホテルの活性化イベントのために行っていた氷の家づくりのお手伝い。ひたすらブロックを切りだして積み上げていく作業を繰り返す。氷上露天風呂に入ったりと、韓国人と日本人だけのワークキャンプでせれなりに楽しむ。ボランティアというより労働者として働いていたような...。開まん、切れる（笑）。	
⑤ 障害者施設併設の場所。山の手入れやお祭りに参加。すみません、それ以外の情報は記憶が...。海保やうじや沖野みち子がいた記憶が...	
⑥ 3か月のロングステイ。宗教関係の施設にて、有機野菜と朝晩に瞑想タイム。アメリカ人だけの中で日本人一人とかなり鍛えられた。日本に帰った後に带状疱疹になったのでかなり緊張感を持って生活した3カ月だが、アメリカ大陸横断したりと、臭い屁をこき続けるアメリカ人がいたり、ハローウィーンに参加させてもらったりと良い経験だった。英語力もここで身についた。	
⑦ リーダーとして参加させて頂く。1週間前に現地入りし、プログラムを作り受け入れ。地域交流や教育交流など。ステイ場所は DV シェルター。インド人とフィジー人の人種問題なども感じる。何も決まっていない状態から創り上げたので、我ながら自分をほめてあげたい。参加者からはせれなりの不満はあったかも知れど...。僕のリーダーを機に終了したように思うが...。受け入れの学校のインド人校長が少し偏りのある人だったかな。	

年齢	経歴
22 歳	タイ、ネパール、東京・青梅のワークキャンプに参加
23 歳	北海道新得、アメリカ LA、北海道然別湖のワークキャンプに参加
24 歳	大学卒業後、北海道自然体験学校に入社するが 2 カ月で退社。自転車で北海道から愛知まで走る。トヨタ自動車の期間工として 6 カ月働く
25 歳	フィジーワークキャンプ参加後、インドに 1 カ月、瞑想をしに行く。その後、求人センターに入社。求人広告の営業職に。
26 歳	NPO コモンビートにミュージカルに参加し、仕事以外の喜びに出会う。妻になる人に出会う。
29 歳	働き方に疑問を感じていたのと、結婚決断を機に、求人センター退社
30 歳	話し方教育センターに入社と同時に結婚。教育研修会社の営業として働く。
33 歳	友人の誘いを受け、マドックに入社。建設業界の仕組みを変えたり、省エネ提案をしていく仕事に。
	遠くない将来的には田舎に住みながら仕事をするために動いている。
趣味・特技	硬式テニス、モノづくり、ランパ・ろうそく生活、マラニック、変顔
座右の銘	鼻からぼた餅
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
特になし	

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）

何より語学。英語を学校では勉強をしていたが実践で使ったことがなかったため。

とにかく、使う、話す、分からなければ質問する、辞書で調べる。。。その繰り返し。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）

特に反対も賛成もなしだったので、、、

多分海外は危ない、という反対意見が多いのではと思うが、説得方法として、

日本と違って、海外旅行者の業界（世界）があって、現地で沢山の友人や知り合いができるんだよ〜、観たいな感じ。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）

参加するまでは日本国内のホント狭いコミュで生きていた。高校までは勉強ばかり、大学に入ってからテニスばかり。決まった人としてしか接していなかった。そこから初めての海外。こんな人がいるのか！

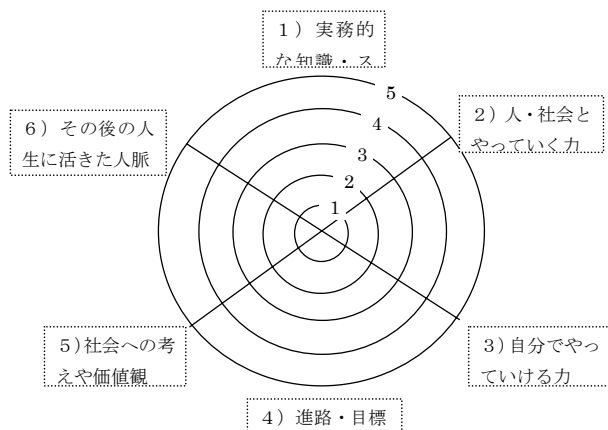
入ってこんなに優しいの！？ ナイスを通じてワークキャンプに参加できたことは僕自身の大きな

ターニングポイント。とにかくタイ・ネパールワークキャンプに参加してからは、一年間ワークキャンプに参加し続けているような人生だった。世界が広がった。人の温かさが分かった、いろんな人が世の中に居ることを知った。人それぞれいくつかの転機があると思うが、僕にとっての大きな転機の一つはナイスに出会えたこと。

ありがとうございます。

成長ダイアグラム ※ 全部「5」をお願いします！

これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪



人それぞれ、その時々必要な出会いや縁があると思います。大学生時代の僕はナイスでした。

僕の場合は、ボランティアをしたいというより、とにかくいろんな人に出会って、色々な場所で色々な経験をしたかった。やっていることは「ボランティア」と呼ばれているのかもしれないけど。

まあ、とにかく、心が参加したいと叫んだら、参加しましょう！

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあった・良くなった。4＝まあまあ得るものがあった・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）